

2020年02月18日（火）【外為Lab】松田哲

タイトル：【新型コロナウイルスの感染拡大】

新型コロナウイルスの、日本国内での感染拡大が止まらない。

つい2、3日前は、感染の経路や、感染者がどこを訪れたなどがニュースになっていた。

しかし、感染の経路が不明の感染者が多数出てきているので、今となっては、
「どこで、誰と会って、どのように感染したのか？」
は、ほとんど意味が無い。

誰が感染者なのか、わからない状況なので、たくさんの人が集まる所に行かないことくらいしか、自衛する方法が無い。

しかし、社会生活をする上で、電車やバスに乗らない訳にはいかない。

スーパーマーケットで買い物をしない訳にはいかない。

現政府は、「感染の初期段階」と力説しているが、誰が感染しているのか不明な状況を作り出したことは、現政府の責任である。

感染の可能性のある人が、ほとんどノーチェックで、海外から日本に入国したから、このような状況になった。

新型コロナウイルスが、発症していない時期（つまり、潜伏期間中）でも、他者に感染する、という特徴を有していることが、問題だった。

言い換えれば、従来の対応方法では、感染の拡大を防げない、ということだ。

だからといって、現在までの対応が免責される訳ではない。

国民の安全を守る、という意味で、明らかな過ちを犯した、と言える。

横浜港に寄港した豪華客船の乗客への対応は、狭い場所に閉じ込めているので、かえって感染を拡大した、と推察する。

クルー（乗務員）に感染者が出ているのだから、食事などを運ぶ際に、乗客に感染した可能性を否定できない。

この豪華客船の対応は、米国や様々な国から、間違った対応の代表例と非難されている。

天皇の一般参賀も中止になり、東京マラソンも一般の参加者は走れないことになった。

いくつかのコンサートも中止になっている。

こういったイベントが中止になれば、日本の経済にとって、マイナスであることは明らかだ。

日本の経済にマイナスの影響があれば、日本株にとっても、当然に、マイナス要因である。

日本株に影響が出てくれば、ドル／円為替にも、当然に余波は広がる。

現状を正しく認識し、早期に対策を示すことが望まれるが、これまでの対応を見ると、期待はできない。

相場にかかわる人は、損をしないように、自衛するしかない。

+++++

(2020 年 02 月 18 日東京時間 15 : 00 記述)